

第38週の発生動向 (2005/9/19~2005/9/25)

1. 咽頭結膜熱は、青森保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 伝染性紅斑は、上十三保健所管内で引き続き**警報**が出されています。

第38週五類感染症定点把握

保健所名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数		定点
(72) インフルエンザ															0	
(60) 咽頭結膜熱	4	0.50	1	0.10			1	0.20						6	0.14	-6
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	0.60	1	0.11	2	0.40						9	0.21	-11
(62) 感染性胃腸炎	18	2.25	5	0.50	2	0.22			5	0.83	7	1.75	37	0.88	-5	
(63) 水痘	1	0.13	5	0.50	6	0.67	4	0.80	1	0.17			17	0.40	8	
(64) 手足口病	2	0.25	3	0.30	3	0.33	1	0.20	5	0.83			14	0.33	-12	
(65) 伝染性紅斑	4	0.50	1	0.10					7	1.17	2	0.50	14	0.33	-18	
(66) 突発性発しん	3	0.38	3	0.30	2	0.22	1	0.20	1	0.17	4	1.00	14	0.33	-8	
(67) 百日咳					1	0.11							1	0.02	0	
(68) 風しん															-1	
(69) ヘルパンギーナ	6	0.75	6	0.60	3	0.33			6	1.00	4	1.00	25	0.60	-16	
(70) 麻しん(成人を除く)															-2	
(71) 流行性耳下腺炎	6	0.75	1	0.10	3	0.33	5	1.00	2	0.33	2	0.50	19	0.45	4	
(73) 急性出血性結膜炎															0	
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50					2	2.00	2	1.00			5	0.45	-9	

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
青森	13	8	5	2
弘前	16	10	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
合計	65	42	23	11

は警報 は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (12) 腸チフス(二類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 1人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 17人)
- (80) 細菌性髄膜炎(五類基幹定点把握疾患) 青森保健所管内: 1人 (17年計 2人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 5人 (17年計 108人)

感染症の窓

つつが虫病

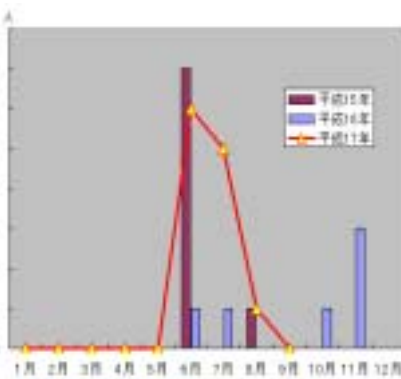


図1 青森県内のつつが虫病発生数



図2 ツツガムシの生活環 (2004年11月27日調査より)

秋の行楽シーズンとなりましたが、つつが虫病は、秋にも発生していますので注意しましょう(図1)。

つつが虫病は、ダニの一種であるツツガムシにより媒介されるリケッチアの感染症です。ツツガムシは、幼虫時期にヒトを含む哺乳動物に吸着してリケッチアを感染させます(図2)。

ツツガムシは、秋~初冬に孵化し、秋の吸着と、越冬した後の春の吸着がみられます。そのため、本県では、秋の10~11月と春に多発する傾向にあります。野山に立ち入る際は、以下の予防法でダニの吸着を防いでください。

予防法: ダニの吸着を防ぐため**素肌の露出が少ない服装**(長袖、長ズボン、長靴等)をしてください。帰宅後は、衣服にダニが付着している場合もありますので、着ていた服はそのまま室内に持ち込まないようにしましょう。また、体にダニが付着していることも考えられますので、野山に立ち入った後は、**入浴等でダニを洗い流して**ください。

感染したと思われる場合、直ちに医療機関で受診して下さい。